

令和8年度第2回大野市スポーツ推進審議会 議事録

- 日時 令和8年10月6日（火）午後7時～8時15分
- 会場 エキサイト広場総合体育施設 2階会議室

1 開会あいさつ（会長）

2 議事

（1）大野市スポーツ推進計画の見直し（案）について

事務局から資料に基づき説明【資料P1】

<意見・質問等>

委員 目標値の達成状況のうち、週1回以上運動している市民の割合は下がっているが、それ以外の指標は目標達成、または目標値を上回っている。この項目だけが下がっていることを事務局はどのように考えているか。

事務局 「運動」の捉え方に違いがあったのではないかと考えている。県が行ったアンケートでは同じ設問で、大野市は52.3%となっている。県のアンケートにはウォーキングやラジオ体操、ストレッチ、ながら運動などの軽い運動を含むと括弧書きがあったため、「運動」の捉え方が違ったのではないかと考える。しかし、市のアンケートで運動を「全くしない」と回答している方が40%を超えていることについては、対応が必要だと考えている。今週末に行うスポーツフェスタなど、多様なスポーツに触れる機会を提供していきたい。

委員 運動を身体活動として、体を動かすこと、普段の家事も含める方向だと思うので、次回、アンケートを実施する際、設問の書き方に注意すると良いのではないのか。

委員 スポーツを「する、みる、ささえる」の視点で捉えれば、子どもの試合観戦や送迎などもスポーツへの参加となり、実施率は変わってくるのでは。

事務局 そのような視点から、スポーツに関わってもらうことも大事だと考えている。スポーツに触れるところからの参加など、アンケートの設問については今後検討していく。

今後は毎年行うとしている県のアンケート結果も参考にしていきたい。

委員 目標値についての見直しはないか。目標値を超えている項目もあるが、下がっている項目もあるので、委員から意見がないのであればこのまま変更しなくても良い。

(2) 令和9年度の課題と施策(案)について

事務局から資料に基づき説明【資料P3】

<意見・質問等>

委員 「しる」「つながる」が加わったことで、追加された施策の方向性はどの部分か。

事務局 「つながる」の部分で、親子での参加や高齢者のサロンなどを活用したスポーツのコミュニティ形成を推進する。「しる」の部分では、ヘルスウォーキングプログラムの成果をスポーツの健康効果として積極的に情報発信していく。また、トップアスリートやプロスポーツチームとの交流を通じて、子どもたちが夢や感動に触れ、スポーツを身近に感じられる機会を創出し、将来にわたってスポーツに親しめるよう取り組んでいきたい。

委員 現状の組織やイベントを活用して、拡充していくイメージかと思う。人と人、地域と地域のつながりは口コミの効果が大きいようにも感じているが、情報発信は大切である。広報は各年代層にいきわたる方法でお願いしたい。

事務局 イベントの周知は広報紙やホームページ、LINEを活用しているほか、健康づくりの観点からヘルスウォーキングプログラムとの連携を強化し、その事業を通じた情報発信も行っている。

委員 項目の①②は、計画目標値の「週1回以上スポーツをしている市民の割合」につながるものと考えてるが、次回、アンケートの際には、実際に健康づくりなどでスポーツをしている人と見たり、ささえたりする人は別にしても良いのでは。

委員 アンケートには定点観察も必要だと思うが、加えなければいけない項目もあるかと思う。スポーツが健康に有益な行動であることやこんな特徴があるなどの情報発信も必要だ。

委員 昨年度、スポーツ指導者公認資格取得者の競技はサッカーや野球が多かったと思う。競技性のあるものばかりでなく、ニュースポーツの審判員などにも対象を広げてほしい。スポーツ推進員として活動するような場合にも資格を持っていれば、指導にも反映していける。

事務局 スポーツ指導者資格取得補助については、広く対象にできるよう検討していきたい。

委員 熱中症対策について、屋外のスポーツはどのように対応するのか。

事務局 屋外スポーツに対してハード面での整備は難しい。昨年度、真名川憩いの

島の管理棟を整理し、エアコンを整備した救護所とした。また、簡易テントの貸し出しも行っている。しかしながら、周知は不足していると感じている。

委員 小学校が統合されたことにより、小学校単位で活動していたスポ少も活動場所が遠くなったり、少子化で活動が厳しくなったりしている。中学校部活動の地域移行と合わせて、スポ少にも運営の支援があると良い。

委員 活動場所が遠くなることでスポーツから離れてしまう背景には、保護者による送迎が難しい家庭があることも一因ではないかと思うので、なにかサポートが必要ではないか。スポーツの裾野が狭まれば、その先、スポーツ参画人口にも影響する。

委員 エキサイト広場で活動していると、ほとんどの子どもが家の人の送迎である。送迎あつてのスポ少になっていて、親が送迎できなければ、足が遠くことになるのが課題である。

アンケートに実際に答えたことがあるが、回答が難しい。普段の家事がスポーツ活動に関係するとは理解しにくい。多くの人は運動はしていないと答えてしまう。また、「みる」「しる」「つながる」は対象となる範囲が広く、アンケートで把握することが難しいのではないかと。

委員 アンケートの際には、できるだけスポーツをする人を拾う形で、県との差を埋めていけるよう設問を設定しましょう。

事務局 そのように対応したい。

委員 中学生の部活動地域移行によりクラブチームで活動しているのは少数派。それ以外の子どもたちがスポーツに親しむきっかけとなるイベントを企画してほしい。ターゲットに中学生もいれてほしい。競技スポーツやニュースポーツなどに出会える機会を作してほしい。

委員 部活動の地域移行により、体力テストの低下が如実に表れていると聞いている。中学生がスポーツに接する機会を検討してほしい。

事務局 対応していきたい。

委員 亀山や街中を歩く人が少なくなっているのは、熊の出没が原因のひとつになっていると思う。自分自身も熊がいると聞いて、亀山に行くのはやめた。

事務局 エキサイト広場に歩きに来ている人が増えている。気軽に寄れる場所としたい。実際、小学生も放課後1時間程度、アリーナで遊んでいることもある。土日や夜間は埋まっているが、平日の日中は空いているので気軽に利用してほしい。そういう利用の情報発信もしていきたい。

- 委員 OSORA の日中無料開放はしてもらえないか。エキサイト広場まで来れない人に街中で利用できる場所があると良い。
- 事務局 対応は難しいと思う。
- 委員 委員よりたくさんの意見をいただいた。今後は、市において計画の見直しと次年度施策の検討を進めることになるが、意見を反映できるところは検討してほしい。

（３）その他

- 事務局 10月10日に第1回スポーツフェスタがある。3会場で多様なスポーツの体験ができるので、家庭や職場でお知らせいただき、参加してほしい。

3 閉会あいさつ（副会長）